

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4091400038		
法人名	(有)クロヤマ		
事業所名	グループホーム むつみ		
所在地	福岡県福岡市早良区内野5丁目24 - 42		
自己評価作成日	平成22年10月13日	評価結果確定日	平成22年12月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常生活を楽しんで頂けるよう入居者様の能力・趣味・趣向を考慮したうえで、季節行事・レクリエーション・ドライブ・買い物等、希望を聞きながら支援しています。庭の季節の花や野菜作りを職員と行い食卓へ提供する等楽しんで頂ける工夫を常に職員が考えています。季節行事には、家族・地域住民・民生委員等も招き交流を図っています。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の近くを流れる川には、夏場には蛍が飛び交っており、住宅地でありながら自然と共存している地域に立地しており、リビングからテラスへと続く大きな掃きだし窓を開ければ、全身で季節を感じることができる。2ヶ月毎に発行している“ホームたより”は、個人情報に配慮し、読む人の立場にたって、利用者・家族への配布用として写真を用いた内容のたよりと、地域への配布用として挿絵を用いたもの2種類が作成されている。地域との連携も強く、職員が廃品回収や清掃活動へ参加したり、テラス越しの挨拶や隣家の方によるホーム周囲への水撒き、運営推進会議を通じて様々な情報を発信したり、緊急時の協力体制が得られるなど、地域の中において、あたり前の日常生活の継続支援が行われている。

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-)です。)

自己評価および外部評価票

ユニット名: グループホーム むつみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所内に提示しており、朝礼で唱和しその理念の下に職員が実践し職務を実践出来るように努め毎月のミーティングの際に入居者一人ひとりに対する日々の意思表示や自己決定を可能にする為の話合いを持っている。また新入社員にも理念の説明を行う。	利用者の尊厳と残存機能の維持を柱とした、理念が作成されている。理念は、事務所内に掲示されており、入職時の説明、申し送り時の唱和等を通じて、理念の浸透が図られている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常の散歩時の声かけや地域の廃品回収・清掃活動の参加し地域の中にとけ込むよう努めている。また開放的なイメージで地域の方々気軽に来訪し相談が行えるように、努めご近所とのお付き合いや自治会・民生委員さんからの声かけ・協力がある。	日々の散歩時やテラス越しでの挨拶、近隣住民へのホーム行事への参加の声かけ、お花を頂いたり、ホーム周囲の緑へ水を撒いて下さるなど、気兼ねない“おつきあい”が繰り広げられている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症ケア研修・認知症実践者研修に参加し運営推進会議を通して、地域住民の方や利用者家族へ認知症の理解や支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域民生委員・いきいきセンター職員・地域住民・利用者家族を招き、2ヵ月ごとに運営推進会議を開催し外部評価の結果・入居者状況等報告し意見や苦情等を収集。職員会議にて改善策等話し合いサービス向上に活かしている。	関係者を招いて、2ヶ月毎の開催がある。ホーム状況の説明や認知症に関する勉強会への取組み、日常生活の中での注意点、介護保険制度等についての質疑応答など、地域住民に向けた情報発信の場となっている。	全家族への運営推進会議の議事録等の送付を通じて、運営推進会議の持つ意味合いの更なる周知と様々な情報発信への取組みに期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	通信新聞の配布・施設行事のご案内等を行いながら、連絡を密にとっている。また運営推進会議にて、施設内の状況報告し、情報交換にて協力関係が築けている。	運営推進会議への行政担当職員、及び地域包括支援センター職員の参加がある。たよりの配布、運営等についての質問や相談を通じて、連携が図られている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在、新しい入居者様が慣れない環境の為か、離設される事が多く、暴力的行為の末、庭のフェンスを乗り越える行動がある為、やむおえず家族了解のもとリビング窓に施錠する事もあるが、極力日中は施錠していない。	日中、玄関は開放されており、自由に出入りできる。家族の同意を得た上で、職員・利用者の状況により、リビング掃きだし窓へのその時々施錠が行われるときもあるが、常態化はされていない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内の勉強会や外部研修の参加、又いつでも資料を閲覧できるように、事務所に設置し知識の向上を努めている。		
8	6	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している、入居者もいる。実際には、成年後見制度を理解していない、職員もいる為、講習会を受講させたり、勉強会を実施していく方針である。	成年後見制度を利用している事例があるも、職員、家族への制度等の説明や情報提供等は、これからである。	運営推進会議時に出前講座等を利用して広く情報を発信するとともに、職員に対して学ぶ機会を設け、制度の正しい理解と周知への取組みに期待します。
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族の面談で不安や疑問等傾聴しグループホームと他職種との違いの説明、施設内見学、理解・納得の上体験入所していただく。後に当施設の生活を理解しご本人入所の納得の上で契約。利用料金・重度化起こりうるリスク・強制退去等について説明		
10	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や運営推進会議等、職員との関わりを通して意見を出しやすい雰囲気作りを配慮し職員会議にて検討しそれらを運営に反映させていく。	担当職員による毎月の状況報告、2ヶ月毎の写真付きのたよりの送付、ホーム行事や運営推進会議への参加時などを通じて、家族の希望や思いの表出に努めている。出された希望や思いは、ミーティング等で検討し介護計画に反映させるなどの取組みがある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の中で意見や提案を聞き、また施設長・管理者との悩みや改善点について問いかけや聴取している。	月1回のミーティングや担当者会議にて、職員の考えやアイデアなどを自由に出すことが出来る。また、職員の状況を見て、社長や施設長との個人面談を通じて、様々な思いや考えを出すことが出来る。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の努力や実績を把握したうえで、賞与・介護処遇改善等公的的制度も利用し、やりがいなど各自が向上を持って働けるよう、職場環境、条件の整備に努め、毎月の職員会議後、親睦会を兼ねたお食事会でコミュニケーションを高めている。		
13	9	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員募集の採用にあたって、性別や年齢は制限しておらず、希望者は面接をし実習に入ってもらい人柄ややる気を重視する。現職員が略高年齢の為、定年を繰り上げその能力を發揮していきいきと勤務できるように配慮している。	職員の募集・採用に関しては、制限等は一切設けていない。定年制を設けているが、職員状況により定年年齢を引き上げるなどの職場環境や雇用条件の改善に努めたり、職員のアイデアによるホーム行事の計画と実施が行われるなどの取組みがある。	
14	10	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	公的機関の研修への参加や施設内の研修に取り組んでいる。	事業所内部での研修計画をたててはいるものの、未実施であり、今後の課題である。	職員の基本的資質である人権意識の喚起のために、マスメディア等で取り上げられる話題を活用しての勉強会、行政担当職員による運営推進会議等を利用した啓発活動等、さまざまな機会を利用して積極的な取組みを期待します。
15		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの能力に合わせた公的機関の研修を受ける機会を確保しケアの向上に努めるよう自覚を持ち、法人内での研修発表を行っている。		
16		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者や職員がサービスの質を向上させていくために、同業者との情報交換や指導を行って頂ける機会を設けている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が困っている事、不安な事を日ごろの会話の中でくみ取れるように、職員と入居者がより良い関係になれるようなコミュニケーションに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との関係や本人の生活歴を十分理解しながら困っている事、要望に耳を傾けながら今後の関係作りに努めている。		
19		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居する前に現在の様子や、詳しい状況を伺い、その時に必要な支援を見極めサービス利用に反映させている。		
20		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様が人生の先輩として、敬意の気持ちを持ち接している。、又職員が、共に暮らすパートナーとして一緒に掃除をしたり、洗濯をしたり日々の生活を笑ったり、泣いたり時間を共にしている。		
21		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、近況報告を送付すると共に、施設だよりも2カ月に1回同符している。又家族の面会時には気軽に話し合える雰囲気をつくり、困った事や相談・協力体制が築けるように心がけている。		
22	11	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方に居られる家族が面会に来られた際にも居心地良く過ごして頂けるよう、支援に努め、家族写真を撮らせて頂いたり、家族が行きつけの美容院や、病院の継続に行かれたり家族で過ごされる時間もある。	家族・親戚の方との墓参りや友人へ手紙を出すことの手助け、贈り物に対するお礼の電話の支援など、馴染みの関係性への継続支援がある。また、近隣他施設へ転居された方に対して、職員が顔を見せに行くなどの取組みがある。	
23		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様が、孤立しないようにテーブルや座る配置、役割活動の配慮や職員が間に入り一緒に多くの会話が出来るような支援に努めている。		
24		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設や入院により、契約が終了した際にも、お見舞いや面会に伺い、関係を継続している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で一人ひとりの思いや意向の把握、意思表示の困難な入居者様にも言葉や表情から変化を見逃さないよう努めている。	家族からの聞き取りや日々のかかわりを通じて、本人の思いや意向を把握し、申し送り時やミーティング時を利用して、情報共有に努めている。思いや意向の表出が難しい利用者に対しても、日常の会話やしぐさ等から意向を汲み取り、介護計画へ反映させている。	
26		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の方に生活環境や生活歴を聞いたり以前携わっておられたケアマネージャー・相談員の方々にサービス利用の経過等の意見を聞き参考し把握に努めている。		
27		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを理解したうえでその日その日の心身状態、体調に合わせて有する力の現状を把握している。		
28	13	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月毎の見直しや状況変化等時に職員全員で情報・意見交換しモニタリング・カンファレンスを行い、又直接的に関わるケアに対し入居者様に気づきが見られた際には都度申し送り等で意見交換し介護計画に反映している	毎月の情報交換や確認、及び3ヵ月毎のモニタリング・評価、見直しがある。また、利用者の状況変化に伴った、その都度の協議と現状に即した介護計画の作成がある。	
29		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	排泄・食事・バイタル等個々に記録し、気づきや実践記録を介護計画に沿って記入し毎月のカンファレンスで情報を共有しながら次の会后計画の見直しに反映させている。		
30		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人にあったプランを作成し、家族の状況に応じては、看護師が通院同行や、交通が不便の為、面会時の送迎必要な支援は柔軟に対応している。		
31		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が、安心して地域で暮らせるように運営推進会議を通じて民生委員や地域住民との意見交換を行い地域との関係を築き安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32	14	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターの往診があり、その都度入居者様の状態報告を行い指示お仰いでいる。又以前からの専門病院への通院も可能で、家族と看護師、かかりつけ医との連携もとれるよう支援している。	ホーム協力医による、年1回の健康診断と週1回の往診の実施がある。利用者の今までのかかりつけ医への受診は、家族対応である。今までのかかりつけ医とホーム協力医との連携により、投薬の調整を行うなど、状況に応じた支援が行われている。	
33		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	正看護師を職員として配置し常に看護師とホームドクターと相談し夜間も報告・指示を受けられるように連携をとっている。		
34		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院する際には、当施設の看護師が付き添い、情報提供を行い、主治医や看護師などと情報交換を行い退院後にも備え家族とも情報を共有している。		
35	15	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時重度化した場合の対応について家族と話している。しかしご本人の意向は、日々の関わりの中で行動、言動で把握しているが、家族と入居者様の意向が違い、事業所で出来る事の支援を検討し今後の課題としている。	契約時に、医療的行為の必要性がなく自然な形での看取りへのかかわりとして、説明が行われている。また、利用者の状況に応じての意向の確認が行われているが、全家族・利用者本人の意向の把握までには至っていない。	人生をどのように生き、どのように送るかの決定の権利は利用者にあります。日々のかかわりを通じて、利用者の思いの把握と情報共有に努め、利用者の尊厳ある暮らしへの支援への取組みに期待します。
36		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今現在新人職員が増えた為、全ての職員が応急手当・初期対応が出来るよう、ミーティングの中でも再確認し、分からない事は、常に聞くよう指導しているが今後、実践力を付けるよう定期的な訓練を行いたい。		
37	16	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防署職員立ち会いの下、入居者・近隣住民を交えて昼夜を想定した避難訓練を実施し消防署職員よりアドバイスをいただくなど、運営推進会議にも議題として挙げており、また消防署職員の方にも運営推進会議に来ていただくよう声かけを行っている	年2回、消防署職員の立会いのもと、近隣住民参加による避難訓練実施への取組みがある。運営推進会議時に、非常災害時の連携について議題に挙げたり、推進会議への消防署職員の参加呼びかけを行うなど、地域と一体となった取組みがある。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせて入居者様となれ合いにならないよう言葉かけに注意している。	時や場所などをわきまえた声かけ、受容的態度での対応など、理念に基づいた支援が見受けられた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の会話から希望を聞いたり、意思疎通が困難な方や妄想がある方にも出来るだけご本人が自己決定できるような声掛けを行っている。		
40		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調を把握し、入居者様の状態に合わせ自分のペースで生活できるように希望に沿って支援している。		
41		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本的にご本人の意向で、愛用の化粧水や化粧品を使用されている。声かけや見守りが必要な方にもできる限り本人の希望に添えるような支援を行っている。家族と行きつけの美容室に行かれたり、訪問美容を利用して、交流を図りながらおしゃれができるよう		
42	18	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューの紹介や、使われている具材の説明など、楽しく食事ができるような雰囲気作りを大切に、下膳やテーブル拭き食器拭き等入居者と一緒に行っている。	利用者の希望、季節や行事等を意識した管理者による1週間分のメニュー作成と、職員による調理が行われている。食材の買出しに利用者と一緒に出かけたり、下膳やテーブル拭きなど、利用者の出来る事を把握しての支援がある。	
43		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量をチェックし、栄養バランスを考えながら、好まれない物の際には好まれる代替品にて提供し、水分を拒否される方にも好みの物で水分補給の声かけを行い支援をしている。		
44		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、自立されている方への声かけと、介助が必要な方へは、誘導し口腔ケアを行っている。また毎週1回必要な方の訪問歯科の指導も行われている。		
45	19	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄を記録し排泄パターンを把握し、声かけを行い失禁なく清潔が保持されるように心がけている。また失禁があった際や就寝前・起床時には快適でいられるよう清拭をおこなっている。	排せつチェック表にて利用者のパターンを把握し、利用者の様子等により声かけ・誘導が行われている。ほぼ全利用者が、感覚及び動作の両面において自立している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ、便秘薬を服用せずに、個々に応じて嗜好品のヨーグルト・牛乳の飲用・適度な運動を取り入れ予防・改善に取り組み自然排便ができるよう食事の調整等にも工夫している。		
47	20	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴希望の意思を伝えることができない方が多いため、曜日を決めご本人に周知して頂いている。意思を伝えることができる方に関しては、希望時にも入浴可能で、入浴拒否の入居者へは、同性介助や、タイミングをはかり声かけ支援を行う。	入浴準備は毎日しており、夏場は1日おき、冬場は2日おきを基本として入浴を実施している。利用者の希望や状況に応じた入浴、利用者との相性の良い職員の対応、好みのシャンプー類の使用など、利用者の精神面への配慮がなされている。	
48		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて入居者の生活習慣を考慮して、適度な午睡・就寝の支援を行っている。また、夜間不眠にて朝起床されない場合安心して眠って頂くよう支援している。また快適な生活リズムができるよう適度な運動も支援している。		
49		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルに個人個人の服薬情報提供表を管理し薬の目的、用法、容量、副作用を確認・理解し症状の変化、薬の変更があった場合には申し送りを周知している。		
50		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の片付けやお盆・食器拭き・洗濯干し・洗濯たたみ等それぞれが役割を持たれ生活していただいている。絵葉書を作ったり、粘土細工を楽しまれカラオケで歌って頂いたり散歩で気分転換の支援をしている。		
51	21	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節をとおして、花見やドライブには家族にも声かけし参加していただいたり、入居者の体調気分に応じて散歩・買い物・他施設の夏祭りの参加をしている。	日常的な散歩、ホーム庭やテラスでの外気浴、ドライブを兼ねた外出、時々スーパーへの買物など、利用者の希望や状況に応じた、支援が行われている。	
52		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人管理の難しい方は、家族の希望により施設側で管理をしているが自己管理できる方に対しては、ご本人・家族同意の上でお小遣い程度の金額を持って頂いている。外出時の買い物では、ご本人が支払いを行われる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望がある場合は、かけて頂いている。また家族より贈り物が届いた際にお礼の電話をかけたいと意思表示できない方には職員が声かけにてかけるようにしている。年賀や暑中お見舞いなど入居者の手作りはがきを出していただいている。		
54	22	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節行事に合わせて兜・ひな人形等を飾り、また季節の花や入居者の作品を廊下やリビングに設置している。リビングよりテラスへは自由に入出りができ庭の散策も季節の花が観賞できる。	フロアー内は自然採光を取り入れ、リビングからテラスへと続く大きな掃きだし窓を開ければ、自然豊かな景色とともに、五感で季節を感じることができる。	
55		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下通路奥の窓際にテーブルを設置し気の合う入居者同士が談笑したり独りで涼んでおられる。		
56	23	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス・ソファ・生活物品・写真など馴染みの物や思い出の物を持ってきて頂き、居室にて日記を書かれたり思い思いに過ごせるよう配慮している。	各居室には、仏壇や写真などの思い出の品や、筆筒、ソファ、テレビなど、使い慣れた品が持ち込まれており、利用者の人柄が伺える居室であった。	
57		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人ひとりの状態を把握し状況に合わせて環境整備に努めている。また状態が変化し混乱が生じた場合は、その都度話し合いを持ち改善し不安を取り除く。		

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	1. ほぼ全ての利用者の	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,21)	1. ほぼ全ての家族と
		2. 利用者の2/3くらいの			2. 家族の2/3くらいと
		3. 利用者の1/3くらいの			3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない			4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	1. 毎日ある	66	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	1. ほぼ毎日のように
		2. 数日に1回程度ある			2. 数日に1回程度
		3. たまにある			3. たまに
		4. ほとんどない			4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	1. ほぼ全ての利用者が	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない			4. 全くいない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 職員の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
62	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	1. ほぼ全ての利用者が	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	1. ほぼ全ての利用者が	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 家族等の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:30)	1. ほぼ全ての利用者が			
		2. 利用者の2/3くらいが			
		3. 利用者の1/3くらいが			
		4. ほとんどいない			